

十勝川かわまちづくりに 関する活動について

十勝川中流部市民協働会議



本日の発表内容

1. 十勝川中流域かわまちづくり計画
2. 十勝川中流部市民協働会議の支援
3. あきあじ祭り
4. あきあじ祭り再興の試み
5. 今後の計画

上記に先立って

○「かわまちづくり」って何？

○千代田堰堤と千代田新水路について

の2点についての説明をします。

河川とそれに繋がる「まち」を活性化するため、地域の「資源」
（文化や観光基盤）や「知恵」を活かして、市町村や地元住民、
河川管理者が連携して水辺の整備や利用を促進する取り組み

○千代田堰堤と千代田新水路



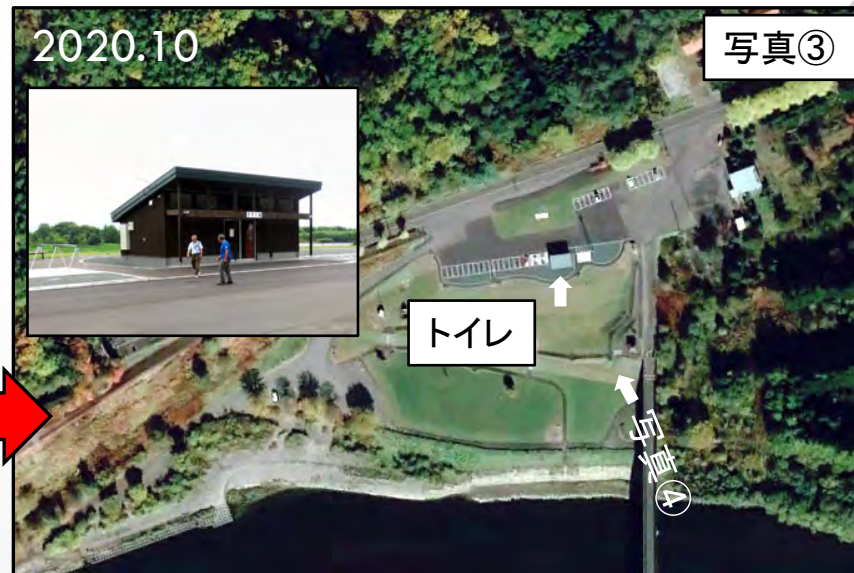
1.十勝川中流域かわまちづくり計画

国土交通省、音更町、池田町、幕別町

1-1.計画の概要



1-2.具体的なハード整備の内容:千代田堰堤展望公園(池田町)



1-3.整備後の目標と新たな面的な利活用メニュー

十勝川水系十勝川（北海道池田町・音更町・幕別町）

【整備後】

十勝を代表するサイクリングルート『トカプチ400』と連携した3町周遊のサブサイクリングルートを整備することにより、潜在する観光拠点を「点」から「線・面」へ再構築し、活力あふれる十勝川中流域の観光スポットを創出。

【新たな面的な利活用メニュー】

＜観光・景観ゾーン＞

・オープンカフェ他

＜自然・観光ゾーン＞

・カヌー等の新規ルート他

＜自然・産業・観光ゾーン＞

・あきあじ祭り、産地直販他

＜文化・産業ゾーン＞

・産地直販他

＜自然・歴史・治水ゾーン＞

・観光ツアー他

トカプチ400基幹ルート

— 既存サイクリングルート

— 新規サイクリングルート

● 既存観光資源

文化・産業ゾーン

観光・景観ゾーン

自然・観光ゾーン

自然・産業・観光ゾーン

千代田堰堤
【土木遺産】

池田町

音更町

十勝川温泉
【北海道遺産】

十勝エコロジーパーク

ワシの飛来地

千代田新水路

自然・歴史・治水ゾーン

千代田分流堰

魚道観察室

渡り鳥の飛来地

蝦夷文化考古館

幕別町

ほなみマルシェ

国道38号

国土地理院

『トカプチ400基幹ルート』

音更

池田

幕別

十勝川

十勝サイクルツーリズム研究会
が活動主体の延長402km
のサイクリングルート

2.十勝川中流部市民協働会議の支援

2-1.支援の対象

「十勝川中流域かわまちづくり」の対象エリアは以下の3つに大別される。

- 音更町エリア（十勝川温泉、十勝エコロジープーク）
- 幕別町エリア（幕別町千住エリア）
- 千代田エリア（池田町千代田、幕別町相川）

千代田エリアが他の2つのエリアに比べて認知度が低い状況にあることと、既存の観光資源が河川の施設であることから、千代田エリアの認知度を向上させる活動については、十勝川中流部市民協働会議で支援することにした。

2-2.支援の内容

- 千代田エリアにおいてイベントを開催することで集客し、千代田エリアの認知度の向上を図る。

3.あきあじ祭り

3-1.かつてのあきあじ祭り(平成の初期頃まで千代田堰堤で開催)

1.地引網漁の様子(サケ親魚の捕獲)



2.地引網漁(捕獲したサケ親魚)



3.サケの汁物が振舞われていた



4.アイヌ民族の伝統的な儀式:アシリチェプノミ
(新しいサケを迎える儀式)

権利の関係から割愛

5.唄や踊りなども披露され、観光客で賑わっていた



3-2. あきあじ祭りとアイヌ民族の伝統儀式

- 十勝川中流域かわまちづくり計画の策定に際しては、将来、千代田の地で「あきあじ祭り」の復興を試みる際に、サケを迎える儀式を行ってもらえるようアイヌ協会に打診し、快諾していた(2018年)。



- アイヌ協会側の文化交流事業のニーズを満たすことと、千代田堰堤展望公園の整備完了時期の(2019年)関係から、「あきあじ祭り」の計画の中から「アイヌ民族の伝統儀式(アシリチェプノミ)」だけを取り出して、十勝エコロジーパークにて「十勝川アシリチェプノミ」を2018年から開催することにした。
(以降、2018～2021年までの4年間は十勝エコロジーパークで開催することになった。)

4.あきあじ祭り再興の試み

○2018年以降、アイヌ協会と協力して十勝川サロルンリムセ、十勝川アシリチェプノミを開催することで、千代田地区の認知度向上に努めてきたが、集客はアイヌ文化に興味のある人たちが中心となり、100名程度にとどまっていた。

○支援を開始してから5年目となる2022年は、さけ・ます増殖事業協会や十勝いけだ屋(飲食)の協力の下、サケ捕獲場の見学や川カフェも開催して、「あきあじ祭り」の再興を試みた。



左岸側

- ・アイヌ民族の伝統儀式
- ・川カフェ

右岸側

- ・サケ捕獲場見学

4-1. 令和4年の「千代田堰堤あきあじ祭り」の開催状況

○アシリチェプノミ(新しい鮭を迎える儀式)の様子



4-2. 令和4年の「千代田堰堤あきあじ祭り」の開催状況

○川カフェの様子



コロッケ、メンチカツ、飲み物の販売



タコスの販売



会場内での食事風景



ピザの販売

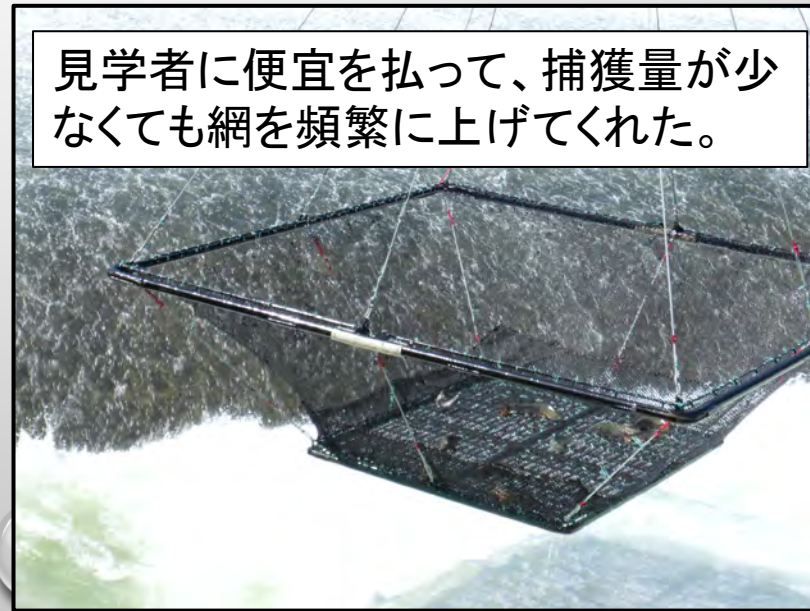
4-3. 令和4年の「千代田堰堤あきあじ祭り」の開催状況

○鮭捕獲場の見学

管理用道路橋～鮭捕獲場間



見学者に便宜を払って、捕獲量が少なくても網を頻繁に上げてくれた。



4-4. 令和4年の「千代田堰堤あきあじ祭り」の開催状況

○来訪者数(関係者含む)

アシリチェプノミ(新しい鮭を迎える儀式):70~80人

川カフェ:150~200人

サケ捕獲場見学:200人程度(車両70台)

○現地で聞いた感想

- ・カムイノミ(祈りの儀式)は何をしているのかわからないので、今一つ興味が持てない。奉納舞踊(古式舞踊)については興味深く見せてもらった。
- ・幕別側の管理用道路橋も開放して欲しい。サケ捕獲場見学の後で、魚道観察室にも行きたい。
- ・捕獲したサケを直販して欲しい。
- ・捕獲場の前で鮭の鍋を振舞ったらいい。
- ・新聞には捕獲場見学のことは出ていなかった。もっと宣伝したらいい。

5. 今後の計画

令和5年以降は関係機関に働きかけて、赤字で示すイベントを追加し、既存の観光資源を活用しつつ、千代田エリアの認知度のさらなる向上を目指していく。



- 十勝川アシリチェブノミ(アイヌ協会)
- 川カフェ(十勝いけだ屋ほか)
- 千代田捕獲場見学(さけ・ます増協、十中協)
- 千代田実験水路見学:実物大の実験ができる施設
- 千代田分流堰に併設されている魚道の見学
- 千代田新水路内の鮭の自然産卵箇所見学
- 幕別側の管理用道路橋の開放

今年開催した「あきあじ祭り」のメニュー（黒字）に赤字で示すメニューを追加して、千代田エリア全体で「川まつり」のようなものが出来ないか検討している。